





リカやインドの血が混ざった社会で、人々はいく分クレオール化されたポルトガル語を話しているのです。

2 ウォレス線  
生物の分布境界線として最初に発見された。カリマンタン島とスマタラ島の間を通り、西側はトラなどが生息する東洋区、東側はカンガルなどが生息するオーストラリア区に分類される。

3 クレオール化  
クレオールとは、元来はフランスの植民地生まれの子どものこと。そこから植民地で生まれた人・もの・言語・文化などは、総称してクレオールと呼ばれるようになった。それらさまざまな社会構成要素の混交現象をクレオール化と呼ぶ。

## 日本との政治的・経済的關係

国連暫定政府は、人口の三分の一が惨殺されるような圧政から東ティモールの人々を救いました。しかし、人々は今日の世界のグローバルゼーションからは取り残されたままです。こうした中、ポルトガルやオーストラリアのほかに、日本は開発援助の最大の貢献国となっています。とくに、電力や水道供給、首都ディリの港湾整備、資本提供などで援助を行っています。NGO（民間）による支援組織（ヤボランディアの団体）も常時活動しています。

2002年2月、日本政府は東ティモールに自衛隊精鋭の工兵大隊550名を派遣しました。しかし、すでに平和が回復してからの派遣は、日本の納税者に多額の負担



収穫したとうもろこしを運ぶ少年



平地部の農耕には、トラクターの代わりに水牛を使う



PKO 当時の自衛隊機



チョンカで遊ぶ少女。チョンカはアフリカ・モザンビークに起源をもつ、石を使ったゲーム

を強いるだけとなり、問題視する声もありました。もうと言えば、そうした資金はJICA（国際協力機構）のような国際的な協力機関や民間のボランティア組織に直接渡した方がよかつたのではないかと考えています。当時東ティモール政府は日本の支援に深く感謝しましたが、市民社会グループは日本のPKO（国連平和維持活動）に抗議し、第二次世界大戦中に人口の約15%が死亡した日本軍の行為に対する謝罪を要求しました。

その後2006年には、大半は浪費されてしまつた外国からの数十億ドルの援助もたらす足りない成果を巡って反乱軍が蜂起しました。2008年2月にはラモス・ホルタ大統領が反政府勢力に襲撃され、かろうじて一命を取りとめたといった事態がありました。国際社会は1999年に東ティモールを救いましたが、独立後の混乱は現在も続き、雇用や治安の面で人々の社会不安も解消していません。国連の活動で言えば、私は現在日本が議長国である国際平和構築委員会のリストに東ティモールを載せることを主張してきました。今後十数年間は、国連による密接な関与が必要だと思っています。

（訳・編集委員）